

2023年5月8日

新入生・学部生の皆さんへ

東京医科歯科大学保健管理センター

2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症は感染症法上の5類感染症となりました。行政による感染対策は緩められますが、ウイルスの病原性や感染性に変わりはありません。感染対策を今一度確認し、換気や手洗いなどの日常的な対応の継続を基本としてください。

新型コロナウイルス感染症の感染制御のために

通学时・学内・外出時では

1. 手洗い
2. 身体的距離の確保
3. 以下の場合、マスク着用を推奨
距離の取れない場合、混雑した交通機関利用時等
医療施設内、高齢者施設内
風邪症状があつて外出しなければならないとき
その他、社会一般でマスク着用が推奨される場面
※湯島地区の屋内ではマスク着用をお願いします



講義室・実習室では

1. 換気
2. 密接を避ける(1mは離れる)

感染予防のために注意すべきポイント

1. 旅行・会食・懇親会・飲み会
2. 屋内活動(カラオケ・演劇・ライブコンサート・ダンス・グループワーク等)

健康観察

1. 発熱や咽頭痛、咳など普段と異なる症状があるときは無理せず自宅で休養してください。
2. 以下のAとBを満たす時は登校を控えて教務係に連絡してください。
A) 37.0度以上の発熱がある。
B) ①喉の痛み、②咳・痰等の呼吸器症状、③倦怠感のいずれか1つ以上ある。
3. B)の症状がなくても37.5度以上の発熱が続くときは、登校前に教務係に連絡してください。

PCR検査・抗原検査について →自身が検査陽性のときは教務係に連絡を！

検査陽性になったら (2022年4月～2023年3月本学学部学生中で288例、全例軽快)

1. 受診先の指示に従って療養に入ります
2. ぶりがえしのないように、安静を守って大事に療養してください
3. 発症日0日として5日間かつ症状軽快後24時間が復帰の目安です
4. 発症後10日間が経過するまで不織布マスクを着けるなどの配慮をお願いします

※同居家族が陽性になったら可能であれば部屋を分け、外出するときは、発症日を0日として5日間は、体調と感染対策に注意し、不織布マスクを着け、高齢者等との接触を控えるなどの配慮をお願いします